

区民等の意見の全文と区の方考え方

※網掛けの部分は、計画に反映させた意見

No.	意見(全文)	区の方考え方	修正の有無
全般的な意見			
1	(全文掲載を望まない方のご意見のため、概要を記載しています。) 区民の意識向上に向けた努力が必要ではないか。	ご指摘のとおり令和 12(2030)年度カーボンハーフを達成するためには、区民・事業者・区が一体となり各取組を実施していくことが重要と考えています。そのため、今後様々な機会を捉え、啓発に努め区民の意識向上に努力していきます。なお、ご意見は今後の参考とさせていただきます。	無
2	地球温暖化について、何となく将来に向けてよくないということが区民もわかっていると思うが、具体的にこのままでは何がどうなるか、計画の対策を実施すればどうなるか、が「杉並区地球温暖化対策実行計画」ではもうひとつピンとこない。そもそも区民一人一人がこの計画の内容を熟読するとは思えない。概要であっても内容をよく理解して自信も計画に従って行動しようと思う人は少ないのでは？ 多くの区民に理解・行動してもらうには、もっとわかりやすく明快な行動指針(その必要性)の明示が必要だと思います。数値の提示だけでは人は動かないと思います。	ご指摘のとおり数値の提示だけでは理解が進まないといったことはあるかと思えます。今後、もう少しポイントを捉えた概要版を作成し、様々な機会を捉え、啓発に努めていきます。なお、具体的な取組例は、区域施策編案のほか、上位計画である環境基本計画においても、「ご家庭での省エネのポイント」等で絵や図を用いた周知を図っているほか、多世代向けの環境啓発動画をYouTubeに掲載する等の周知を行っていきます。	無
3	まず、はじめに岸本区長が仰っていた「気候正義」の考えを基にした計画という前提が良いと思いました。これからの将来を生きる子どもたち世代のことを考えてくれていることが純粋にとっても嬉しかったですし、環境問題に限らず全ての社会問題は将来の子どもたちのために取り組むべきものだとわたしも考えるので賛同します。ゼロカーボンシティ宣言の[取組]について、より具体的な取り組み内容を掘り下げて設定する必要があると感じました。初めて見る人でも分かりやすく、これなら自分も実践できるかと思えるような取組内容を設定してほしいです。	2番と同様	無
4	まず、はじめに岸本区長が仰っていた「気候正義」の考えを基にした計画という前提が良いと思いました。これからの将来を生きる子どもたち世代のことを考えてくれていることが純粋に嬉しかったですし、環境問題に限らず全ての社会問題は将来の子どもたちのた	3番と同じ	無

	<p>めに取り組むべきものだとわたしも考えるので賛同します。</p> <p>ゼロカーボンシティ宣言の[取組]について、区域施策編・事務事業編ともにより具体的な取り組み内容を掘り下げて設定する必要があると感じました。初めて見る人でも分かりやすく、これなら自分も実践できるかと思えるような取組内容を設定してほしいです。</p>		
5	<p>いずれにせよ一番重要なのは、区民に表明・広報していくことだと思います。まず第一にこのような計画が掲げられていることを知らなければ、興味を示して自主性を持たなければ、始まらないし達成できない目標だと思うからです。</p> <p>ここまで長々と生意気なことを連ねてしまって恐縮ですが、一意見として力になれることを、また聞き入れてくださることを願っております。目標達成に向けて一緒に取り組んでいきたいので、もっともっと大胆で力強いリーダーシップを望みます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>	2番と同様 なお、区民・事業者・区が一体となって地球温暖化対策に取り組むため、区が適切にリーダーシップを発揮して対策に努めていきます。	無
6	<p>いずれにせよ一番重要なのは、区民に表明・広報していくことだと思います。まず第一にこのような計画が掲げられていることを知らなければ、興味を示して自主性を持たなければ、始まらないし達成できない目標だと思うからです。</p> <p>ここまで長々と生意気なことを連ねてしまって恐縮ですが、一意見として力になれることを、また聞き入れてくださることを願っております。目標達成に向けて一緒に取り組んでいきたいので、もっともっと大胆で力強いリーダーシップを望みます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>	5番と同じ	無
7	<p>省エネルギー対策としては、建物の断熱化・断熱回収に向けて周知や助成。なるべく車を使わず、歩行者や自転車を使いやすい道路や安価な駐輪場の整備。家庭での省エネのポイントなどについてパンフレットなどで周知しエネルギー消費の削減に対して理解を進める。等、住民が自分の事として、自然環境を守り地球温暖化対策に取り組める様な方策を進めていってほしいと思います。</p>	具体的な取組例として、「ご家庭での省エネのポイント」等で絵や図を用いた周知を図っているほか、多世代向けの環境啓発動画をYouTubeに掲載する等の周知を行っていきます。今後も、区民等が温暖化対策を自分事として捉え取組が進むよう、様々な機会を捉え啓発に努めていきます。	無
8	<p>【前提2】住民・事業者の自発的な協力(例えば、環境配慮行動の促進)に基づく温室効果ガス排出の低減への期待</p> <p>例えば、この計画に示されている杉並区のエネルギー消費量の推移をみると、運輸用</p>	7番と同様	無

<p>は減少傾向にある一方で、家庭用のエネルギー消費は微減にとどまっています。</p> <p>そのため、自主性に頼っていては難しいと考えられます。</p> <p>一方でエネルギー価格の高騰が続けば、生活の質を落とすことで目標が達成されるかもしれません。しかしそれは好ましいこととは言えないだろうと思います。</p> <p>住民としては漫然と協力を求められるよりも、まずは目標達成とより好ましい暮らしが両立する将来を描くことから始められるとよいのではないかと考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標の達成、未達の場合を含めてどのような未来へのシナリオがあり得るのかを考える機会 ・複数のシナリオから自分たちにとって好ましいシナリオを選択する機会 ・そのようなシナリオを実現するための方策を考える機会 <p>を提供することも大切になるのではないかと考えます。</p> <p>それは計画の中にある気候区民会議が担えるのかもしれないですし、ほかの取り組みもありえるのかもしれませんが。</p> <p>計画の実行を通して、よりよい将来とそれにつながる道がわかってくることを願います。</p>		
<p>9</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 計画の位置づけ: 策定通り同意します。 2. 温室効果ガスの削減目標: 策定に記載通り、直近の令和元年の実績値には、必ず追加的な且つ有効的、適切な対策を行わないと目標値は到底達成できないと思われまます。 3. 施策の体系と取組/緩和策-削減の方向性: 先ず区民として何を実行すべきか、何ができるか、について私自身の課題として考えてみました。 <ol style="list-style-type: none"> ① 緑化と緑の保全の推進: 自分に身の回りに更なる配慮をする。 ② ゴミの減量: 食物ロスの配慮をはじめ3Rに努める。 ③ 環境教育・学習・環境活動の推進: 保有する資格を活用した活動を続けながらもっと領域を広げる努力をし、協力する。 ④ (仮称)気候区民会議に関連した取り組み: 詳細な内容を知りたいし、場合によっては参加も検討したい。 4. その他(気になること): 自家用車は所有していないので個人的対策はないが、再生可 	<p>現在も区民・事業者に対する再生可能エネルギーの利用推進や省エネルギー対策の推進に資する助成を実施していますが、都による補助等の状況も踏まえ、対応していきます。</p> <p>なお、ご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>	<p>無</p>

	<p>能エネルギーの導入拡大に対して検討したい意図はあるものの、高齢者夫婦世帯の戸建て家屋で何が如何様にできるのか？費用を如何にするのか？ 課題が過大で具体化が現実的ではないと思われます。</p> <p>今回の実行計画において区として目標の達成が可能なら特段問題は無いと思いますが、区全体の約 60%を占める高齢者と約70%の戸建て住宅所有世帯の協力が必須となるのであれば、公民一丸となって、先述の再生可能エネルギーの導入実現に向けて具体的に検討する必要があると考える次第です。</p> <p>以上</p>		
10	<p>区外に住む小学生が杉並区の地球温暖化対策について考え意見を寄せてくれましたがパブリックコメントに該当する区分がなく本人が投稿出来なかったので区民である私が代わりに投稿します。(以下原文そのまま)</p> <p>.....</p> <p>私は、食べ物などの商品に「この商品をつくるため、はこんだりするためにどれだけの二酸化炭素が使われたか」を表示することが良いと思いました。</p> <p>年齢、性別、障害など関係なくすべての人がひと目みて分かるように二酸化炭素の量の基準を決め、それにもとづいてマークを決め、商品に表示します。</p> <p>(例)CO2 数値(少)以下の商品は「○」、中くらいは「△」、多いのは「×」</p> <p>そうすれば、さまざまな人に分かりやすく二酸化炭素がどのくらい使われているかが分かるので○がついてる商品を自然に選びやすく、子どもでも手にとりやすくなると思いました。</p> <p>○のつく商品が売れやすくなるので CO2 の基準が「×」の商品をつくっている企業も、売れるために○がつくように対策をとるので CO2 はへると思いました。</p> <p>さらに、今はユーチューバーやティックトッカーなどの「インフルエンサー」やアイドルなどはとても「子どもたち」からのえいきょう力を持っています。</p> <p>それを利用して、○マークを集めた特典をつければ良いと思いました。</p> <p>(例 ○マークを 10 コ集めてここに出せば、</p>	<p>ご指摘のとおり、一つの商品に関わる温室効果ガス排出について、生産・流通・消費(・廃棄)まで一括して把握する「カーボンフットプリント」の考え方も重要と考え、区域施策編案の 60 ページのコラムに記載しています。</p> <p>環境物品等に関する情報については、各種環境ラベルや環境ラベル等データベース(環境省)など、既に多様なものが提供されているものと認識しています。</p>	無

	<p>インフルエンサーのげんていライブにご招待！など)</p> <p>そうすれば、インフルエンサーに会いたい子どもが親にお願いしてより、たくさんの〇がついたかんきょうに良い商品が売れると思えました。</p>		
11	<p>2. 一人でも多くの区民や事業所が、それぞれに応じた日常生活でどれだけ具体的に温室効果ガス排出量やエネルギー消費量削減をイメージできるかが目標達成のカギと思います。そこで、対策の課題をどう見せていくかが問われるところと思います。</p> <p>実行計画に細かなことは記載しないと思いますが、動機付けにすぎなみフェスタ、防災イベント、舞祭り、地域区民センターまつりなど様々な目的で区民が集まり、事業所が出店する、また、地域で開かれるイベントでの「ゼロカーボンシティ取組アピール」が出来たら良いと思います。</p> <p>また、2030年度の温室効果ガス排出量の将来推計値及び目標値達成に向け行動に移した区民事業者が、やり甲斐を感じ行動を継続することができるか。また、その行動がどれだけ波及効果を産めるか、取組事例や進捗状況報告を杉並区ホームページだけでなく各種イベントで繰り広げたらと思います。</p>	<p>ご意見は今後の参考とさせていただきます。</p> <p>区民や事業者が温暖化対策の課題を自分事として捉え、取組が進むよう、効果的な周知方法を検討していきます。</p>	無
12	<p>【区域施策編】</p> <p>●意見1</p> <p>杉並区総合計画(2022～2030年度)の施策9「質の高い環境を将来につなぐ気候変動対策の推進(P.32)」の計画最終年度の目標として、「再生可能エネルギーの利用拡大や省エネルギー対策の推進により、エネルギーの有効利用が進むとともに、災害時等における安定的なライフラインの確保にも寄与しています。」と掲げられています。</p> <p>太陽光発電システムの特徴である天候等による発電電力量の変動や電力の需給ギャップに対し、調整機能として蓄電池、家庭用燃料電池等の導入により電源を多重化することにより、災害時に安定的なエネルギーの確保が可能となります。</p> <p>また平時には、家庭用燃料電池によるエネルギーの効率的な利用により省エネにも寄与することから、以下のとおり変更することを提案します。</p> <p>(以下のとおり略)</p>	<p>【区域施策編】</p> <p>48 ページ</p> <p>家庭用燃料電池については、50 ページの「断熱改修等省エネルギー設備の導入推進」で記載しています。</p> <p>57 ページ</p> <p>ご指摘を踏まえ、「電気自動車(EV)・燃料電池車(FCV)・プラグインハイブリッド自動車 PHV)に搭載された電池に充電された電気を、住宅で利用するためのシステムをいいます。」という記述に変更します。</p> <p>【事務事業編】</p> <p>14、15 及び 19 ページ(その1)</p> <p>蓄電池やコージェネレーションシステム等の設置については、施設規模や費用対効果等について、施設の改築時等の際に検討します。</p> <p>なお、災害時に避難拠点となる区立小中学校の校舎改築時等には、太陽光発電</p>	有

	<p>●意見2 燃料電池車(FCV)もV2Hの形で建物への給電が可能であり、停電時のレジリエンス強化に貢献できることから、以下のとおり変更することを提案します。 (以下のとおり略)</p> <p>【事務事業編】 【意見1】 区対象施設の多くは、災害発生時の防災拠点や震災救援所に指定されており、施設の省エネルギーと再生可能エネルギーの導入を進める際には、同時にエネルギーの確保を図り地域のレジリエンスを強化する視点が重要と考えます。 太陽光発電の導入を進めながら地域のレジリエンスを強化するためには、天候等による発電電力量の変動に対する調整機能を持つ蓄電池やコージェネレーションシステム等の導入により電源を多重化し、災害時のエネルギーを確保する必要があります。また平時には、コージェネレーションシステムによるエネルギーの効率的な利用により省エネにも寄与することから、以下のとおり変更することを提案します。 (以下のとおり略)</p> <p>【意見2】 P.14 の記載と整合を図るため、以下のとおり変更することを提案します。 (以下のとおり略)</p>	<p>設備のほか蓄電池の設置を行うこととして います。 19 ページ(その2) ご指摘を踏まえ「庁有車の電気自動車など非ガソリン自動車への切替推進」という記述に変更します。</p>	
13	<p>杉並区地球温暖化対策実行計画の体系と取り組みとして、緩和策が6点あげられており、良いと思うが、それぞれをどの様に実行していくのか、杉並区の状況と合わせて考えていく必要があると思います。</p>	<p>今後、事業の具体的な実施方法の検討や、それに対する効果、財源の裏付けなどを踏まえ計画を進めていきます。</p>	無
14	<p>杉並区地球温暖化対策実行計画(案)の策定について僭越ながらコメントをお送りいたします。 概要版には2030年カーボンハーフ、2050年ゼロカーボン達成イメージのグラフを示していただいているかと思いますが 本編の第四章 P.41(2) 温室効果ガス排出量の目標値に関してグラフィイメージが記載がありませんでした。 現状と削減必要量が一目でわかるのでなるべくグラフィイメージや表に関しては本件の知識が乏しい区民の方も多くいらっしゃると思いますので追加いただくことをご提案いたし</p>	<p>ご意見は今後の参考とさせていただきます。 なお、ご指摘のグラフは区域施策編案の67ページに記載しています。</p>	無

	<p>ます。 また本件に関しては実施案なのでトンマナなどあるかとおもいますが計画に対しての目標について p.39 以降にあるとよく読み込まないと辿りつかないと思います。 起承転結において、結起承転のような形がこの場合どのような目標を目指すのかまず最初にわかるため構成に関しても検討いただけますと幸いです。 年度末のお忙しい中大変お手数をおかけいたしますがご確認のほどよろしくお願いいたします。</p>		
15	<p>お世話になっております。 先日、グラフ追加の件で意見を出させてもらいましたが、概要版で示されている CO2 削減の現状と目標の表も本編にありませんでした。 一目で理解できる表であるのでぜひ追加してください。 宜しく願います。</p>	<p>ご意見を踏まえ、区域施策編案の 41 ページに概要版記載の温室効果ガスの現状値と削減目標に関する表を掲載します。</p>	有
16	<p>●全体 資料をスライド (PowerPoint 等) 形式のしていただくなど、区民にもより内容が掴みやすいようにしていただけると有り難いです。</p>	<p>ご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>	無
17	<p>1. 私もゼロカーボンシティーを目指したいと思います。今回の実行計画で大筋良いと思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございました。</p>	無
18	<p><消費社会からの脱却> 現在の消費依存型の経済観念にハマっている限りは物はどんどん使い捨てられゴミが増え、安く作るために環境配慮はされず気候危機へ悪化の一途を辿る。 海外の劣悪な労働環境を野放しにし、わたしたちの便利で安価な生活のための犠牲者を世界レベルで増やしていく。 消費社会に経済やひとの豊かさが依存している限り、環境政策や環境配慮製品は経済的にオイシイ分野の話ではない。そのため国や企業が動かない。 だからこそ、自治体から動き出すべきである。 消費依存型の社会から、物の価値や豊かさを見直していくには自治体が主体になり社会変換を促していくことが必要であると考える。</p> <p>例 ・マイ容器推進出店や環境配慮製品の販</p>	<p>16 番と同じ</p>	無

	<p>売などの脱プラフェスタの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食の食材提供を近隣からとし、給食だよりで毎月紹介 ・学校教育で現社会の環境負荷について学ぶ「すぎなみカリキュラム」の導入 ・断熱、エコリフォームへの補助金の積極的な啓発 		
19	<p>目標値 2050年ゼロカーボンシティの実現に向けて、例は12年度の温室効果ガス削減量を平成12年度比で50%削減するカーボンハーフを目標に設定する。</p> <p>取り組み 緩和策1～6に付いて区民ひとり一人が取り組むことができるできり項目は、次の4項目であろうと思います。</p> <p>3. 緑化と緑の保全の推進 杉並区は緑化の取り組みは以前から進められて、その一環として小学校卒業時に植木の配布。また春先に一般家庭の希望者に植木の配布を行い緑化運動が進められた時期があつた。しかし、ここ20年くらいは行わなくなった。特に最近では新築家屋を建てる多くの方は庭木を植えず庭をコンクリート化が目立ち、植木を植える習慣がなくなっている。</p> <p>4. 循環型社会形成の推進 社会改善の一貫として再生可能エネルギーの確保という観点から太陽光発電の導入が都として新築家屋に対して義務付けられてきた。杉並区は他区に比べ低層住宅が多く、都の要請に基づく太陽光発電の新築家屋は勿論、築15～20年の家屋でも屋根の補強と同時に設置可能だと思う。したがって杉並区独自の幅広い検討を望みたい。</p> <p>5. 環境教育・学習・環境活動の推進 環境教育・学習に置いて、住みよい環境づくりのため知識の導入は欠かすことなく早い時期から取り組みが必要である。杉並区歌に歌われている明るく住み良い街にするために老若男女問わず全ての区民の意識の高揚が必要である。そのために力強い実行計画の推進を願いたい。</p> <p>6. 気候区民会議に関連した取り組み 区民一人ひとりが気候温暖化に対する意識を高めるための働きかけ、今日現在よりさらなるゴミの減少に対する認識の高揚が大切であろう。昔は各家庭で庭の片隅に穴を掘り落ち葉や庭に生えた雑草で堆肥を作理、家</p>	16番と同じ	無

	<p>庭菜園や庭木の肥料作り多くのゴミは各家庭で処理した時代でしたが、現在はこうした余裕がない家庭環境が狭くなっている。最近では分別ゴミの循環作用が進んでいますが、さらにこの対策を念頭にゴミの減少に工夫していきたい。</p> <p>以上が私個人としての意見です。「杉並区地球温暖化対策実行計画」(案)「カーボンハーフ」の推進にあたり心から成功を祈りつつ多いに協力していきたい所存です。</p>		
20	<p>42 ページ</p> <p>「区の目標は、国の中期目標と整合的であるだけでなく、その水準を上回る目標となっています。」「都の目標と整合しています。」との記載がありますが、そもそも重要なのは世界的に目指されている 1.5 度目標に整合しているかどうか、ではないでしょうか。</p> <p>世界平均で 2030 年カーボンハーフが目指されていますが、日本は世界第 6 位の排出国であり、過去からの累積排出量も多いです。この責任をか考えると 60%の削減が必要だという指摘もあります。本項目では国や都との整合性に加え世界目標との整合性を整理し、さらに高い目標 60%削減を掲げるべきではないでしょうか。なお、すでに長野県をはじめとする一部の先進自治体では 60%削減の目標を立てています。</p> <p>IPCC の第六次統合報告書にも「温暖化を 1.5℃又は 2℃に抑制しうるかは、主に正味ゼロの CO2 排出を達成する時期までの累積炭素排出量と、この 10 年の温室効果ガス排出削減の水準によって決まる(確信度が高い)」とされています。とにかく重要なのはこの 10 年です。その点を踏まえた目標設定をお願いいたします。</p> <p>私には 4 月から和泉保育園に通う 2 歳の息子がいますが、彼は 30 歳の時に 2050 年を迎えます。私は彼が生まれて本当に幸せですが、果たして 2050 年に彼が子どもを持ちたいと思える世界を残せているか。その点がとても心配です。今判断をできる、人類の大人だけが温暖化を何とかできる最後の存在です。ぜひ積極的な目標設定をお願いします。</p>	<p>区域施策編案の 2030 年度の温室効果ガス削減量の目標設定は、2013 年度比 54%削減に相当します。この目標設定は、国の中期目標と整合的であるだけでなく、その水準を上回るものであり、その達成に向けて取り組んでいきます。</p>	無
21	<p>目標値について:</p> <p>・2030 年温室効果ガス削減目標を 2013 年度比で 60%以上に引き上げてください または、「50%を目標値とするが、60%などより</p>	20 番と同様	無

	<p>高みを目指す」など、せめて国際的に、先進国は 60%以上を削減しなければならない趣旨を記載していただきたいです。</p> <p>IPCC によると気候危機を回避するために?地球?気温上昇を 1.5 度以内に抑える必要があります、そのために世界全体で 2010 年比で 45%削減が必要です。先進国は 60%以上の削減が必要です。</p> <p>国立環境研究所や国際環境 NGO グリーンピース・ジャパンも、日本での 60%は可能だと言っています。</p>		
22	<p>ゼロカーボン化は、気候変動の緊急性を考ええると人類全体で取り組むべき喫緊の課題です。自治体の力で住宅の断熱化、公共施設再エネ化、地産地消化、省エネ化など自治体ならではの細やかで具体的な政策が立てて欲しいです。まちづくり、地域経済、子育て、ケアの分野など全体をゼロカーボンの傘で覆って、グリーンな未来図を住民目線で描いていけたらと考えています。</p> <p>削減目標については、世田谷区が66%を目指しているのに対し、杉並区の 54%削減目標は低いと思います。環境先進自治体リーダーを目指して、ぜひ60%目標を掲げて欲しいです。</p>	20 番と同様	無
23	<p>p42 温室効果ガス排出量の目標値 II 国の目標の基準年度との比較</p> <p>「杉並区において . . . 温室効果ガスは平成 25(2013)年度から 54%削減されます。」に対する意見:</p> <p>国の中期目標を上回る目標を掲げていることは高く評価したい。しかし、さらに目標を引き上げて「2030 年度に温室効果ガスを 2013 年度比 62%削減することを目指す」として欲しい。「2030 年度に温室効果ガスを 2013 年比 54%削減することを目指し、さらに 62%の高みに向け、挑戦を続けていく」として欲しい。</p> <p>理由</p> <p>世界の気候目標「1.5 度目標」を達成するためには、世界の温室効果ガス排出量を 2030 年までに 45%削減することが必要とされている(IPCC「1.5°C特別報告書」2018/10)。一方で、政府の 2030 年度温室効果ガス削減目標「2013 年度比 46%削減」は、2010 年比では「42%弱削減」に止まる。また、「1.5 度目標」を達成するために排出をゆるされる残余カーボンバジェットに照らすと、日本は</p>	20 番と同様	無

	<p>2013 年比 62%以上の排出削減が必要であるとする見解もある(クライメート・アクション・トラッカーの報告書)。「1.5 度目標」達成には、世界の協力が必要。世界の足を引っ張り他国の努力を待つのではなく、また、世界・将来世代・生き物や生態系全体に対して、これ以上の加害者となることを避けるために、より高い目標とより積極的な取り組みが求められます。</p>		
24	<p>いつも区民のために尽力くださり、本当にありがとうございます。</p> <p>現在の杉並区の、2030 年までの温室効果ガス削減目標は 54%と設定してくださっていますが、より野心的な削減目標が必要だと言われていました。</p> <p>最低でも、60%の削減は必須です。</p> <p>60%でも不十分だという見解もありますが、目下の目標として、60%への引き上げをお願いいたします。</p> <p>私は Z 世代と呼ばれる年齢で、これから先地球環境がどうなっていくのか、私がおばあさんになるまで住める環境なのか強い不安を抱えて毎日過ごしています。</p> <p>皆さんのお子さん、お孫さんの将来はどうでしょうか。</p> <p>よろしくをお願いいたします。</p>	20 番と同様	無
25	<p>・CO2 等の温室効果ガスの削減目標を、50%ではなく 60%削減を目指してください。国内や世界状況を見ると、50%の削減では、1.5°Cを達成することは困難と思います。「東京都の水準に合わせて・・・」と東京都と歩調を合わせる記述が多くみられますが、より高い目標を持つことを期待しています。例えば、世田谷区は 66%削減目標を掲げています。</p>	20 番と同様	無
26	<p>●区域施策編 GHG 削減目標 p.42</p> <p>2013 年度比 54%とありますが、60%以上への引き上げについてご検討をお願いしたいです。クライメート・アクション・トラッカーは、1.5 度目標達成のためには少なくとも日本の 2030 年削減は 62%以上を要するとしています。また、同団体は 2021 年 5 月 4 日に「日本や米国などが新たに発表した 2030 年までの温室効果ガス排出削減目標を達成しても、世界の平均気温は産業革命前より 2.4 度上昇する」と発表しています。世田谷区でも 2030 年に 2013 年度比 57.1%減を達成すべき目標としつつ、野心的な目標として 60%</p>	20 番と同様	無

	減を掲げています。		
27	<p>IPCC 第 6 次統合報告書(AR6)が、2023 年 3 月 20 日に発表されました。この新知見の中でも注目されるのは、「パリ協定」の事実上の長期目標である 1.5 度を達成するためには、温室効果ガスの排出量を「2035 年までに 60%削減すること」が必要(2019 年比)であることが明示された点です。気候危機が進行し、対策は一刻の猶予も許されない状況の中、発表されたこの報告書は、今後の国際交渉や国内政策、さまざまなビジネスの分野にも、大きな影響を及ぼすものとなります。(WWF ジャパン HP より引用) https://www.wwf.or.jp/activities/activity/5274.html</p> <p>これに対し、杉並区の計画案には、『令和 3(2021)年 10 月に国が策定した地球温暖化対策計画においては「我が国の中期目標として、2030 年度において、温室効果ガスを 2013 年度から 46%削減することを目指す。さらに、50%の高みに向け、挑戦を続けていく。」とされています。杉並区において、前掲の目標を達成した場合には、温室効果ガスは平成 25(2013)年度から 54%削減されます。すなわち、区の目標は、国の中期目標と整合的であるだけでなく、その水準を上回る目標となっています。』(p42)</p> <p>とありますが、国の 46%削減目標は先進国の目標数値を大きく下回るものであり上記の IPCC の警告に應えるものではありません。54%削減で満足するのではなく、世田谷区が「57%目標、さらに野心的な目標66%」(世田谷区地球温暖化対策地域推進計画 より)を示しているように、杉並区も頑張ってもらいたいです。 https://www.city.setagaya.lg.jp/mokuji/sumai/011/010/d00038749_d/fil/ontaikeikaku2-3.pdf</p>	20 番と同様	無
28	2030 年度の温室効果ガス削減目標ですが、やはり 54%ではなく 62%にするべきと考えます。せめて、世田谷区のように「野心的な目標」としての設定でいかがでしょうか。	20 番と同様	無
29	2030 年までに 60%以上の CO2 を削減してください。 気候危機は待ったなしの状況です。	20 番と同様	無

区域施策編(Ⅰ 区民・事業者・区によるエネルギー利用の最適化)

30	<p>杉並区のCO₂の半分は、家庭部門です。家庭からのCO₂はエネルギー(電気)が大半ですから、多くの家庭が再エネの電力に切り替えることがまず必要です。</p> <p>同時に、家庭の断熱、省エネを進める必要があります。しかしそれを個人の意志に頼らず、政策として多くの市民が再エネに切り替えるような施策を検討していただきたいです。私たちも考えます。</p>	<p>区では再エネ普及のため各種助成を行うとともに、普及啓発に努めています。東京都でも同様に助成と普及啓発を行っています。これらをさらに区民に普及させていくべく今後も取り組んでいきます。</p> <p>なお、ご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>	無
31	<p>全体としましては具体的な実行計画として取り組むことが表明されており、良いと思いました。2点ほど意見を書かせてください。</p> <p>一つ目は再生可能エネルギー利用について、太陽光発電等による電力だけではなく、太陽熱を熱としてそのまま給湯や暖房に利用する太陽熱利用のシステム導入についても民生部門のエネルギー創出・利用方法として有効だと思っております。住宅における給湯と暖房にかかる熱エネルギーは極力、電力やガスに頼らないシステムとして戸建て住宅に搭載していくことができればPVの設置容量を減らしながら、暖房エネルギー負荷削減に貢献できると思えます。(PVと熱利用を同時に行うハイブリッドシステムもあります。)</p>	<p>区域施策編案の48ページに記載のとおり、区では、強制循環式ソーラーシステムや自然循環式太陽熱温水器も助成の対象としています。</p>	無
32	<p>(事業編) P22 抜粋 『建築物省エネ法(※)改正 現行法では、床面積 300 m²以上の中規模・大規模建築物(非住宅)に省エネ基準適合が義務付けられていますが、2025年度以降は、全ての新築住宅・非住宅が省エネ基準への適合義務対象となります。』 2025年には省エネ基準が自治体基準で決められるようになりますね。杉並区においては、国の適合基準(等級4)に甘んじることなく、ぜひ等級6(HEAT20-G2)基準としていただきたいです。もちろん、再エネとのコンビネーションも必至ですので、太陽光パネル設置と両輪で建物の断熱と省エネを進めていただきたいです。</p> <p>(区政編) ご参考に鳥取県の、とっとり健康省エネ住宅『NE-ST』の戸建住宅を新築する際の県独自の省エネ住宅基準(とっとり健康省エネ住宅性能基準)のリンクを貼っておきます。 https://www.pref.tottori.lg.jp/ne-st/</p>	<p>ご意見は今後の参考とさせていただきます。</p> <p>なお、2025年に義務付けされる省エネ基準が、自治体基準で決められるとの予定は把握しておりません。</p>	無

33	<p>緩和策の中に、「再生可能エネルギーの利用推進」や「省エネルギー対策の推進」とありました。</p> <p>まだまだ区民にその重要性や助成金のしくみなど浸透していないと思いますので、学習会開催や周知の徹底などで広めていただければと思います。</p>	<p>区域施策編案では、65 ページに「専門性を持ったNPO法人やエネルギー事業者と区が協働で、太陽光発電設備設置者との情報交換会、省エネ相談会、講演会等の啓発事業を実施し、再生可能エネルギー及び省エネルギーの普及促進を図ります。」と記載し、今後一層取り組んでいきます。</p>	無
34	<p>・杉並区で進めるエコチャレンジ事業や省エネのための補助金事業が周知されていないと思います。様々な告知方法、ツールを使つての告知の強化を期待します。</p> <p>一つ、突飛な提案ですが、「脱炭素の日」「脱プラの日」を隔月・4回/年に決めて、区民全体で脱炭素・脱プラを実施・体験するのはどうでしょう。様々な脱炭素・脱プラのノウハウを提供する場であると良いと思います。その日に区民が協力した成果が数値として見える化できれば、認識を新たにさらなる取り組みにつながるのではないかと思います。</p>	<p>エコチャレンジ事業は区域施策編案の 52 ページ、省エネルギー対策の推進に関する助成金は 50 ページに記載しています。今後も機会を捉えて周知を図っていきます。</p>	無
35	<p>杉並区地球温暖化対策実行計画 区域施策編</p> <p>全体を通しては、コラムも含めて非常に読みやすい計画だと思いました。そのうえでいくつか意見を提出いたします。</p> <p>53 ページ</p> <p>家庭での省エネで重要なのは断熱や再エネの設置に次いで重要なのは売電事業者の切り替えではないでしょうか。</p>	<p>「再生可能エネルギー由来の電力の導入による効果」は、区域施策編案の 74 ページに記載しています。</p>	無
36	<p>太陽光発電パネルの住宅への設置について</p> <p>・戸建て住宅への設置推進に反対します。小池都知事が、政策として打ち出していますが、パネルの耐用年限の短いこと、廃棄物として処理方法が環境汚染、CO2 削減に反することから、基本的に早急な施策と思います。杉並区は、同調すべきではないです。また、戸建て住宅への設置は、屋根構造から設置方法や維持管理困難で安全性に課題があり、強風、地震への対応に危険性が大きいです。また、住宅地の景観上美しくないことなどがあります。</p> <p>・マンションの屋上は、面積が広く、効率よくパネルを配置することができ、メンテナンスも可能です。共用部の電力、照明に使うのが良いと思います。電気自動車への充電にも使えるようにした場合には、補助金を出してもやるべきと考えます。(近隣も充電が使</p>	<p>太陽光発電パネルの戸建住宅への設置は、再生可能エネルギーの導入拡大に欠かせないものと考えています。東京都の設置政策も含め、ご理解をお願いします。</p> <p>なお、太陽光発電パネルは屋根面の蓄熱を低減し、夜間のヒートアイランド現象を緩和する効果が期待できるものと承知しています。</p>	無

	<p>えることを条件とする。マンションの収入の足しにもできることで普及を図る。既存住宅の場合は、設置が困難であることから、周辺地で利用ができ、有効利用が可能。マンションの共益費や修理の積み立てに用いることができれば、普及が図れる。)</p> <p>・太陽光パネルは、反射光や、周囲の気温を高めることから、高い樹木が損傷する恐れもある場合は避けるべきで、高いマンションの屋上緑化の代わりに設置は望ましいが、戸建て住宅の屋根は、樹木より高さが低いので、パネルを載せるより、樹木の生育を阻害する。</p>		
37	<p>先日川崎市で新築建物への太陽光パネル設置義務化を盛り込んだ条例改正案が可決、成立しました。東京都に次いで二例目ですが、ぜひ、杉並区も後に続いていただきたいです。</p>	<p>ご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>	<p>無</p>

区域施策編(Ⅱ 交通対策の推進)

38	東京都が宣言を出していたり取り組んでいるように、建築物の断熱基準を高めたり、太陽光パネル設置義務化や、ガソリン車ゼロなどもぜひ取り入れていただきたいです。	ご意見は今後の参考とさせていただきます。	無
39	緩和策の中の「交通対策の推進」についていずれにしても自動車利用者が減少するとよいと思います。 気軽に自転車で移動ができるようにするために、もっと駐輪場を増やしていただきたい。無料だとより利用者は増えると思います。空気入れの設置も合わせてお願いしたいです。	杉並区環境基本計画に基づき、区立自転車駐車場の大型自転車対策を含む規模適正化を図ることや、民営自転車駐車場の整備等の支援、シェアサイクルの活用等、自転車利用環境の向上に取り組みます。 ご意見は今後の参考とさせていただきます。	無
40	自動車の通行数が年々減っていることから、さらに通行量を限りなく減らす方向でゼロカーボンを目指したい。住宅地域内には基本的に住んでる人以外の車を入れないことにして、物の運搬などは、大通りに車を停めておけるスペースは必要かと思いますが、そこからは自転車付きリヤカーのようなもの、キャスターや脚で運ぶなど。住民の車や自転車などの走行スピードもゆっくりに規制することで歩行者や子供、高齢者にも安心できるまちづくりになると思う。	杉並区地域公共交通計画に基づき、「居心地が良く歩きたくなる(ウォーカブルな)まちなか形成」について検討していきます。 ご意見は今後の参考とさせていただきます。	無
41	●商店街に車はいらない パリの街に、今、車がほとんどなくなっているのにびっくり。昔は見るからに渋滞していたのに。杉並も中心地には車が乗り入れられないルール作りを。配達の手はどこかの集合駐車場などからリヤカーなどに荷物を積んで街中に入ってくるようにする。重いきったルール作りが必要！	40番と同様	無
42	75 ページ 次世代自動車の普及、シェアも重要だと思います。 ま自転車に乗りやすい街、歩いて楽しめる街づくりも重要です。緩和と適応の考え方を街づくりに取り込んでいただきたいです。	次世代自動車の普及に関しては、区域施策編案 56 ページに記載しています。また、杉並区地域公共交通計画に基づき、「自転車利用の推進」や「居心地が良く歩きたくなる(ウォーカブルな)まちなか形成」について検討していきます。	無

区域施策編(Ⅲ 緑化と緑の保全の推進)

43	<p>杉並区地球温暖化対策実行計画 区域施策編 60 ページ</p> <p>農地の保全と活用ですが、生産緑地の活用方法として市民農園としての貸し出しを計画してください。地産地消はカーボンフットプリントを考慮しても重要なことですし、先々の食糧確保が難しくなるかもしれない時代に備える意味でも、災害に備える意味でも、地域の強靱化につながるのだと思います。私もぜひ畑で作物を作りたいのですが家には場所がなく、近くに市民農園があったら是非活用したいと思っています。</p>	<p>区では、区民が農に親しむことができる場を提供するとともに、都市農地の保全を図るため、区民農園を区内に6園設置し、さらに令和5年度新たに井草4丁目に1園開設します。引き続き、より多くの区民の方に農にふれあう機会を提供するため、区民農園をはじめとした農業体験の場の確保に努めていきます。</p>	無
44	<p>・農産物の輸送コスト対策</p> <p>都内にいくつかある野菜スタンド等、地元で採れる農産物を直接販売できる機会を拡充する。</p> <p>道路拡幅工事のため空き地になっている場所に一時的に無人販売やマルシェを設ける。</p>	<p>区や農業者グループ等が地元産の農産物を販売する即売会の充実を図るなど地産地消を推進していきます。</p> <p>ご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>	無
45	<p>樹木を増やすために、これから新築する住宅には必ずある程度の樹木を植えることを条件にするなど、新築改築での新しい規制も考えていいのではないかと思います。</p>	<p>区では、みどりの条例に基づき、既にすべての建築行為等に緑化指導を行っています。</p>	無
46	<p>杉並区は23区の中でも緑の豊かな環境であると思うが、緑はCO2を吸収しまた地表の温度も下げ、ヒートアイランドの予防にもなると思います。善福寺公園など公園や池や河川などの緑地を保護すること。農作物を作っている生産緑地の保護と活用。また広い土地(家屋)の緑が年々少なくなっているが、それらも保護して緑を守っていく事が、水や空気、環境を守っていく事にもつながると思います。</p>	<p>ご意見は今後の参考とさせていただきます。</p> <p>なお、緑化の推進及び緑の保全の推進については、区域施策編案の59ページ及び60ページに記載しています。</p>	無
47	<p>世代交代で昔ながらの庭のある住宅が5~6棟の建売住宅になるケースが多いです。新たに家を建てる場合には省エネ構造にすることはもとより、必ず一定の割合で緑を残す、若しくは植樹することを住宅メーカーに条例として定め杉並区内の緑を増やす事で二酸化炭素の削減を進める。</p>	46番と同様	無
48	<p>適応策について</p> <p>「みどりのベルト」に期待いたします。</p> <p>都市で30パーセントまで緑化を進めると、気温上昇によって亡くられる方が40パーセントほど減少するという記事を読んだことがあります。</p>	46番と同様	無

	CO2を吸収するだけでなく、気温上昇も抑えてくれる樹木を増やしていただきたいです。 そして木陰を作るのが難しいバス停には、屋根の設置をお願いします。夏場の真っ昼間に20分バスを待った時、とても辛い思いをいたしました。		
49	二つ目はヒートアイランド対策も兼ねる緑化推進について住宅地と道路が地表の多くを占める杉並区の中で住宅地と道路の樹木等の植栽や土の面積をどのように増やしていくか、どのように雨水を地面に浸透するようにするか等について具体的な方策を検討する必要があるのではないかと思います。現状第一種低層住居専用地域における敷地の細分化により最低敷地面積である70㎡80㎡の敷地の中で、建物と駐車場を確保すると土の地面や樹木を配置するスペースが確保しにくくなったり、街路樹については落葉の問題はあると思いますが枝葉が広がる前に剪定されてしまい、夏場に直達日射によってアスファルトが灼熱状態になっている道路もあります。ただ、住宅地においても道路においても轍の部分以外を土にしたり、宅地面積に応じて樹木を規定本数(最低でも1本以上)は植えるとか、道路も透水性舗装を原則にしつつ、植栽の基準を設けたり、街路樹のピッチを検討したり等、具体的な工夫を進めていくことはできると思います。夏場の冷房負荷削減のためにも区内の住宅地にみどりを戦略的に増やし、住宅地の気温を下げていくためのさらなる取り組みが必要ではないかと思います。	46番と同様 なお、雨水を地中に浸透させる取り組みの一つとして雨水浸透ますや雨水浸透トレンチの設置に対し、助成しています。	無
50	89ページ ? 善福寺川流域及び神田川流域では、公園・緑地の拡大整備、延焼遮断効果のある高木の植樹などを重点的に推進します。これにより、ヒートアイランド現象対策に資するだけでなく、延焼遮断帯としての機能も併有する「みどりのベルト」づくりを進めます。 →とても良いと思います。ぜひ実施してください。	ご意見ありがとうございました。	無
51	59ページ 区内緑化の推進についてですが、まず緑地の区分と機能を明確にすべきではないでしょうか。和田堀公園周辺も徐々に公園が拡張していますが、樹林が増えているというより芝生が増えているような気がします。	ヒートアイランド現象緩和に関しては、夏季の夜間において、樹林地よりも芝生面に低温域が形成されるとの報告もあるものと承知しています。また、区では総合計画において「緑被率」を目標指標としています。緑被率は、「上空から見て樹木、草	無

<p>ヒートアイランド現象緩和に資する緑のベルトはおそらく樹林帯である必要があると思われる、樹冠被覆率などが指標として重要な気がしますし、生物多様性の維持・確保のためであれば、自然護岸などの水辺、雑木林、雑多な草の生えた草地など、多様な生態系を適切に確保する必要があります。単純な「緑化」という表現にとどまらず、緑の区分と機能を明確にした具体的な計画があるべきだと思います。</p> <p>また私の家の周りでも庭のある家の跡地に分譲住宅ができるたびに庭木が減っていき、地域全体ではずいぶん木が減った感覚があります。</p> <p>また街路樹も強剪定が目立ち、温暖化適応の観点からも樹木の価値が適切に評価されているとは思えません。</p> <p>色々な自治体の環境基本計画などを見ましたが、どの自治体も「みどり率」などあいまいな指標を不明確な理由で目指しているものばかりです。ぜひ全国の自治体をリードして明確な計画づくりをしてください。</p>	<p>地、農地、屋上緑化のみどりで覆われた部分が区全体の面積に占める割合」と定義されています。</p> <p>ご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>	
<p>52 (区域施策編)87p 「みどりのベルト」緑化指導や屋上緑化・壁面緑化、区立施設の緑化、農地の保全などにより地表面や建物の自然的被覆地を増やし、ヒートアイランド現象の緩和を図ります。そのために、区民・事業者がつくる身近なみどりを連続させ、ベルトのようにつなげていく「みどりのベルト」づくりを推進します。</p> <p>上記の目標は素晴らしいと思いますが、みどりのベルトを実現するための具体的なロードマップの表示がどこにも見当たりません。実際にみどりのベルトをつくっていく場所はどこで、何本ぐらい、どのようにスペースを確保し、どういった種類の樹木を植樹されるのでしょうか。また何年までにどのぐらいの面積のみどりのベルトができるのでしょうか。具体的な計画をぜひ明示してください。</p>	<p>みどりのベルトづくりはみどりの基本計画に基づき、拠点となる大規模な公園等のみどりを、河川や幹線道路等のみどりでつなぎ、さらに暮らしの中にある屋敷林や農地、学校のみどりを接道部のみどり等でつなぎ、暮らしの隅々にまでベルトのようにみどりを張り巡らせていく考え方です。みどりの基本計画では、令和14年度を目標に区内全域の接道部緑化率を30%にすることを目標としています。</p>	<p>無</p>

区域施策編(Ⅳ 循環型社会形成の推進)

53	<p>普段の生活の中から実践できることを続けていくことが大切だと考える。</p> <p>特別なことや大掛かりなことを提案しても、どこか他人事となり環境問題を自分事として捉えにくくなる。</p> <p>自分事として捉え、実践しやすくするために重要なのは現在の市民レベルでの課題の実態調査に他ならない。</p> <p>・ゴミ清掃員の方々の協力を得てゴミ対策 ゴミを出している側は日常的すぎて課題意識を持ちにくい。</p> <p>そのため、日々ゴミ回収に勤しむゴミ清掃員の方々の協力が望ましいと考える。</p> <p>ゴミ出し、分別の状況 ここ数年でプラゴミ、資源ゴミ等の量や種類変化など</p> <p>日々の業務の中で蓄積されている感覚や実感は大きなビッグデータとなり得るだろう。</p> <p>ゴミ清掃員の方々が日々感じている中に家庭レベルでのゴミ対策への課題や希望が隠れていると考えている。</p>	<p>ご意見は今後の参考とさせていただきます。</p> <p>なお、ごみの適正排出について、ごみ・資源の収集カレンダー(分け方・出し方)や清掃情報紙をはじめ、講座・講演・イベントで周知しているほか、町会連合会清掃研修会の開催、次世代を担う保育園児や小学校の児童を対象とした環境学習を実施しています。</p>	無
54	<p>●区域施策編 生ごみの減量 p.61</p> <p>学校や庁舎など、区の施設に関しては、是非コンポストの導入のご検討をお願いできればと思います。特に学校等に関しては、環境学習を実施しつつも、日常的にごみの減量や自然循環を体感できる環境を作ることが意識や行動の変容につながっていくと思います。</p>	<p>事務事業編案 18 ページに記載のとおり、区施設から回収した食品廃棄物(給食室等の調理施設で発生する食品残渣、区施設での弁当の食べ残し等)を利用して、メタン発酵によるバイオガスで電力を発電しています。</p>	無
55	<p>2 生ごみを有効活用するためのコンポストを各家庭だけでなく、地域で行えるシステムができないでしょうか。例えば小中学校に取り入れてはどうでしょう。子どもたちが家庭で残ったもので堆肥を作り、小さくてもいいので校庭の一面で畑を作り、作るそこから消費、その後の利用までの循環を体現できるのは子供にとってもプラス体験になるはずです。その他、区内にもっと農地スペースを作れたらいいのですが。練馬区では区が土地を買い、区民が農作業を体験できる農地を新たに作りました。栽培自体は JA 東京が行うようですが、種まきや収穫などの体験イベントを行うようです。杉並区でも農地用の土地募集や、また、そのような事業を行ってくれる NPO 法人の募集するなどして、コンポストでの堆肥作りからの都市農業をまちづくりの一環として、ゼロカーボンを目指せたら。</p>	<p>ご指摘のコンポストは、堆肥になるまで時間がかかる他、使用量と残渣量、ハエ等の害虫対策等の課題がありますが、ご意見は今後の参考とさせていただきます。</p> <p>なお、区では、区民農園などの区民の方が農に親しむことができる場を提供するとともに、学校給食の地元野菜デーなど地産地消の推進を図っています。</p>	無

	さらに給食に使える流れができればいいですね。畑だけでなく果樹の木栽培も。		
56	3 その他のゴミを限りなくゼロに近づける、リサイクルに力を入れた取り組みも必要では。資源を再利用するため、45種類のゴミの分別をしている徳島県上勝町の取り組みが参考になるかと思います。住民自らがゴミを捨てに行くというのは、小さな町だからできることかとも思いますが、資源を分ける仕組み作りを考えれば、杉並でもできるのでは。	ご意見は今後の参考とさせていただきます。	無
57	●みんなで作るコンポスト 個人でやるのもいいが、学校ぐらいの班(?)で、みんなで生ごみを持ち寄ってもらおう。雇用も生まれる。その堆肥で野菜を作り学校などの給食に使ってもらおうとか。	55番と同じ	無
58	緩和策「ごみの減量」について 「生ごみの減量」 区で生ごみコンポストに取り組むことを目指していただきたい。 ゴミの収集日に生ごみの日を設けるか、各自指定された場所に持ち込むかして、個人ではなく、地域で生ごみから堆肥を作るしくみを検討していただきたいです。できた堆肥は地元で活用し、地域で持続可能な循環のシステムを模索していただきたいです。	55番と同じ	無
59	桃井原っぱ公園のような広い敷地で、気候危機や脱プラについてのイベントをしたらいかがでしょうか。ブースを立ててパキスタンの洪水やマーシャル諸島、ガーナの「電子ごみの墓場」を紹介。ソーラーパネルからの電力だけを使ってライブをする。提供されるドリンクは全てリユースカップやデポジット、マイカップなら割引き。	56番と同じ	無
60	区域施策編 循環型社会形成の推進 食品ロス削減は、とても大切な究極の省エネ行動だと思います。 学校給食で食べ残しが出ない工夫を、小中学生に自ら考えてもらい、提案をしてもらうのはどうでしょう。例えば、パンやご飯の量を自分の今日の体調に合わせて選べるようにするとか。地産地消のメニューの日を設け、杉並の農家の方の野菜の説明を受け、食べ残しゼロに取り組む。給食を食べる側からの意見を聞き、可能な所を取り入れる。	ご意見は今後の参考とさせていただきます。 なお、学校給食の「地元野菜デー」については、区域施策編案の64ページに、また、小中学生環境サミット発表会でも参加校から食品ロスの取組について紹介がありました。	無
61	「食品ロスの削減」 区内のスーパーなどに、まだ食べられるが廃棄されてしまう商品をフードバンクにご寄付	ご意見は今後の参考とさせていただきます。 なお、区域施策編案の61ページでは、	無

	<p>いただけるよう、働きかけていただきたい。 同じく規格外の野菜を処分される農家さんなどにも呼び掛けて頂きたい。 廃棄することでごみを増やすのではなく、食にお困りの方々のこども食堂やおとな食堂などで、役立ててもらおう仕組みを作っていたきたいです。</p>	<p>事業者の取り組みとして、「事業者(飲食店及び食料品店等)は、食品ロス削減に積極的に取り組む「食べのこし0(ゼロ)応援店」への登録や、売れ残り間際の食品を安価で消費者に提供するフードシェアリングサービスの導入を検討します。」等の記載をしています。</p>	
62	<p>●食品ロスをなくす取り組み 「夜のパン屋さん」のような、余りそうなものを早めに集めて安価で提供する仕組みを区と民間企業、もしくはNPOとかで組み立てるとよいのでは。お店の人と買いたい人をつなげる仕組みをみんなで話し合ったらできるんじゃないでしょうか。</p>	61番と同様	無
63	<p>63 ページ 廃食油の回収拠点を増やしていただけないでしょうか。</p>	<p>ご意見は今後の参考とさせていただきます。 なお、令和4年4月から、新たに地域区民センター(6箇所)での受け付けを開始し、回収拠点の拡充を図りました。</p>	無
64	<p>61 ページ ワンウェイプラスチックの削減 地域内でのリターナブル容器の活用促進など検討いただけないでしょうか。</p>	<p>ご意見は今後の参考とさせていただきます。 なお、杉並区一般廃棄物処理基本計画で「レジ袋削減に加え、製造者や販売店等に対して過剰包装やワンウェイプラスチックの使用量削減に向けた働きかけを行う」こととしています。また、市内の販売業者には協力要請し、一部容器を、ワンウェイプラスチック以外に変更していただきました。</p>	無
65	<p>・マイ容器で脱プラ対策 個人的な実感として、個人飲食店ではマイ容器での買い物を受け入れてくれやすい。逆にチェーン飲食店、スーパーなどではマイ容器での買物を断られやすい実感がある。 お惣菜、下処理をお願いする鮮魚などをマイ容器で購入できればその分トレーやプラ包装を省くことができる。</p>	64番と同様	無
66	<p>「ワンウェイプラスチックの削減」 プラスチック容器は安価で使いやすいので、総菜やお弁当などの容器として使われていると思います。 商店の方々に助成金を出して、代替品へ移行するよう促していただきたい。 また、お店側にもお客側にも「マイ容器」持参でお買い物ができるように、区で奨励していただきたい。 例えば西荻窪を「マイ容器モデル地区」と</p>	64番と同様	無

	し、商店にも消費者にも、マイ容器での買い物の重要性と楽しさをアピールするなど、積極的に取り組んでいただけたらと思います。		
--	--	--	--

区域施策編(V 環境教育・学習、環境活動の促進)

67	<p>全て拝読いたしました。 興味深い事柄がいくつもありました。 「環境教育・学習の促進」とありますが、座学だけでなく、 「太陽光発電舗装システム」や「メタン発酵によるバイオガス」など、実際に見学できる杉並区の温暖化対策ツアーのようなものがあるとよいと思いました。 「協働による環境活動の促進」とありますが、新宿区の「エコリーダー養成所」のような、市民が体系的に環境問題を学べる学習の場があるとよいと思います。そして武蔵野市の「エコreゾート」のような、環境のことを学ぶためにいつでも市民が集える施設が、杉並でも持てたら素晴らしいことだと思います。</p>	<p>ご意見は今後の参考とさせていただきます。 なお、区民一人ひとりの環境配慮行動を推進するため、杉並区立環境活動推進センターを設置し、講座の実施その他の学習の機会の提供等の事業を行うほか、同センターの講座室を団体等の利用に供しています。</p>	無
68	<p>●区域施策編 環境教育・環境学習の推進 p.64 学校での教育・学習も重要ですが、学校での環境教育・学習の機会が今より少なかった大人向けの学習・教育にも力点を置いていただければと思います。関心の薄い方にも届くよう、身近な図書館等の活用や事業者向けの研修機会の提供などもご検討いただければと思います。</p>	<p>区域施策編案65ページに記載のとおり、「学校の環境学習支援」のほかにも、「区と豊富なノウハウを持つ NPO 法人が協働し、環境講座や講習会やイベントの開催」等を行ってきました。また、区域施策編64ページに記載のとおり、交流自治体等との連携により、森林を活用した、区民参加による体験型森林環境学習の実施に向けた取組等を推進していきます。</p>	無
69	<p>64 ページ 地産地消や農業の持続可能性を高めるために、有機野菜給食を検討お願いします。</p>	<p>ご意見は今後の参考とさせていただきます。 なお、学校給食で使用する量の有機野菜の生産は農業者の理解を得て進めていくべき課題と認識しております。</p>	無

区域施策編(VI (仮称)気候区民会議に関連した取組)

70	<p>「気候区民会議」について、家庭単位ではなく、公立の小中学校などの大きな単位で実施するのはいかがでしょうか。授業の一環で取り組むのも良いと思います。子どもたちが小さいころから環境問題に触れて興味関心を持つことによって、この時代に生きる当事者として考えていかなければならない問題として認識させていくべきだと思います。</p> <p>わたし自身、小学生高学年のときに学校(杉二小)の取り組みとして「キッズ ISO」というものに参加し、簡単なテキストを基に具体的に何ができるのかを学びながら、実際にガスメーターを記録したりゴミを減らす・分別する取り組み等を【楽しみながら】実践したことが今でもとても印象に残っています。家族の協力が必要なので、結果的に家庭を巻き込むこともできていたのも良かったと思います。そしてその経験は少なからず、今の環境問題に関心のある自分に繋がっていると思うので感謝しています。</p>	<p>(仮称)気候区民会議は、無作為抽出により選ばれた区民等が地球温暖化の現状や気候変動対策について学習と議論を行い、その結果を区政運営に生かす仕組みとして、設置・開催に向け調査・検討を行っています。現在、小中学生の環境学習は小中学生環境サミット等の取組を実施しています。</p>	無
71	<p>「気候区民会議」について、家庭単位ではなく、公立の小中学校などの大きな単位で実施するのはいかがでしょうか。授業の一環で取り組むのも良いと思います。子どもたちが小さいころから環境問題に触れて興味関心を持つことによって、この時代に生きる当事者として考えていかなければならない問題として認識させていくべきだと思います。</p> <p>わたし自身、小学生高学年のときに学校(杉二小)の取り組みとして「キッズ ISO」というものに参加し、簡単なテキストを基に具体的に何ができるのかを学びながら、実際にガスメーターを記録したりゴミを減らす・分別する取り組み等を【楽しみながら】実践したことが今でもとても印象に残っています。家族の協力が必要なので、結果的に家庭を巻き込むこともできていたのも良かったです。そしてその経験は少なからず、今の環境問題に関心のある自分に繋がっていると思うので感謝しています。</p>	70 番と同じ	無
72	<p>緩和策「(仮称)気候区民会議の実施に向けた調査研究」について 「気候区民会議」開催に大いに期待しております。</p> <p>区民を巻き込むこの仕組みは、民主的であるのは勿論のこと、区民の関心を引き寄せる有効な手段だと思っています。</p>	<p>「2050 年ゼロカーボンシティ」実現のため、(仮称)気候区民会議を通じて、区民が気候変動問題を自分事として捉え、気づきや行動変容につながるよう取り組んでいきます。</p> <p>なお、今後、先行事例の研究や学識経験者、区民等との意見交換など、開催に</p>	無

	<p>その仕組みづくりから区民が参加できることを強く望みます。</p> <p>主な理由としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民の意見を取り入れながら仕組みづくりができること。新たな気づきが必ずあると思います。 ・その進捗状況を区民が中からリポートするなどして、話題作りに貢献できること。 ・行政、専門家、区民がともにフラットな立場で仕組みづくりに取り組み、区民が受け身でなく主体的に関わることによって、区民の「自分事化」が加速し、のちに杉並の人々の環境意識を高めるような良い影響を与えられるから。 <p>是非ご検討ください。</p>	<p>向け検討を進めていきます。</p>	
73	<p><気候区民会議への賛同></p> <p>家庭からの CO2 排出量が多い中で、企業任せの施策では不十分。</p> <p>また、わたしたち住民一人一人は気候危機、気候変動に大きな影響を及ぼしていることを自覚しなければならない。</p> <p>そのため、家庭レベル市民レベルまで環境への理解を啓発していくことが必要であると考え。</p> <p>そのためにも気候区民会議の提案に大きく賛同する。</p>	<p>ご意見ありがとうございました。</p>	無
74	<p>●区域施策編 気候区民会議 p.66</p> <p>とても期待しており、是非参加させていただきたいです。ただ開催するだけでなく、議論の結果を基に本計画に反映していく仕組みづくりもお願いできればと思います。</p>	<p>73 番と同じ</p>	無
75	<p>66 ページ</p> <p>気候市民会議の設置をお願いします。</p> <p>ぜひ具体化し、市民が参加した対策検討をお願いします。</p>	<p>73 番と同じ</p>	無
76	<p>(仮称)気候区民会議に関連した取組</p> <p>気候区民会議が開催され、学習・議論の結果を区民に伝え、地球温暖化・気候変動に関する区民の理解が進むよう、注目いたします。</p> <p>環境人材が増え、気候変動の緩和・適応行動を区民、区内事業者に伝える使命について私も協力したいと考えます。</p>	<p>区民が気候変動問題を自分事として捉え、気づきや行動変容につながるよう取り組んでいきます。その際にはご協力の程、よろしく申し上げます。</p>	無

区域施策編(推進体制及び進捗管理)

77	<p>●区域施策編 計画の期間と見直し p.3 必要に応じてのみならず、こまめな見直しをご検討いただければと思います。そのために、出来ていないことも含め、定期的に透明性の高い中間報告をお願いしたいです。</p>	<p>ご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>	無
78	<p>3. 第6章推進体制及び進捗管理が弱いと思います。 杉並区環境清掃審議会が調査審議する機関とありますが、チェック機能として環境清掃審議会だけのように読み取れます。第三者の専門家や、気候区民会議などからの意見聴取があると良いと思います。</p>	<p>ご意見は今後の参考とさせていただきます。 なお、杉並区環境清掃審議会の委員には、学識経験者など環境分野の専門家も含まれています。</p>	無

事務事業編

79	<p>同時に、まずは公的施設の太陽光パネル設置や、再エネ電力への切り替えを進めていただきたいです。</p>	<p>事務事業編案の 23 ページに、「区立施設において、可能な限り太陽光発電や蓄電池等の再生可能エネルギー設備の導入拡大を進めます」、「区立施設が調達する電力について、可能な限り再生可能エネルギーへの転換を図ります。」と記載し、取組を進めていきます。</p>	無
80	<p>(事業編) 杉並区の学校整備課に問い合わせたところ、杉並区の小中学校では太陽光パネルの設置が少しずつ進んでいるようですが、小学校においては 40 校中 22 校。中学校においては 23 校中 14 校。既存校においては 5Kw、改築校には 10Kw。今後の方針では改築校に 30Kw のパネルを設置されると伺いました。(p23) しかし 10Kw～30Kw 相当の太陽光パネルでどのくらいの電力が賄えるのか、またそれが地球温暖化対策と繋がっているのかをこの計画案で探しましたが見当たりませんでした。 区役所、学校などの公共施設に何 Kw ぐらいの太陽光パネルを設置する予定でそれによる CO2 削減効果がどれくらいあるのか、という数値による「見える化」が必要だと思います。</p>	<p>学校に設置する太陽光発電パネルは、創エネの他、環境教育の一環として設置しています。その規模は、新築や改修によりそれぞれ異なります。 家庭向けの太陽光発電と蓄電池については、ガイドブック「なっとく！おひさまパワー 太陽光発電入門&蓄電池の選び方」にあるとおり、年間発電量は、太陽光パネルの出力 1kW で年間 1,000kWh が目安と認識しています。なお、「見える化」についてはご指摘のとおりですので今後研究を行ってまいります。</p>	無
81	<p>4. 事務事業編「4章 杉並区環境 省エネ対策実施プランの達成状況」を読んで思ったことは、計画があっても結果が伴わないことがある。今回の4一般廃棄物の削減目標未達成は新型コロナウイルスによる不測の事態がありましたから。でも、地球温暖化と不測の事態そのものが無関係では無いと思います。例えば超大型のゲリラ豪雨や30年以内に予測されている大震災など杉並区内で起こりうる災害は想定内なのは、そして災害ごみ大量発生はどうなるのかと。</p>	<p>ご指摘のように気候変動による悪影響が既に起こりつつあることから、それを最小限に抑えるための取組として「適応策」が必要となっているものと認識しており、この旨区域施策編案 46 ページに記載しています。 なお、本計画案とは別に、地域防災計画や杉並区災害廃棄物処理計画を策定しています。</p>	無
82	<p>(事務事業編) 建物の断熱化促進のために「学校の断熱改修教室」をワークショップスタイルで開催するのはいかがでしょうか。長野県、岡山県、埼玉県、藤沢市などいくつかの学校で断熱改修ワークショップが開かれています。杉並区でも学校の総合の時間などを利用して、子どもや親や地域の人々も巻き込んで断熱教室を開いてみると、楽しく目に見える形で区民に断熱のことを啓蒙できると思います。また、</p>	<p>ご意見は今後の参考とさせていただきます。 なお、断熱に関する普及啓発としては、毎年区役所ロビーにて「住まいの断熱展」等を開催しています。</p>	無

	公共施設で断熱工事が必要だ、公共事業として断熱をやる必要がある、ということを考えるきっかけになります。		
83	<p>事務事業編</p> <p>一般廃棄物の削減目標未達。直近の3年間数値が横ばいに近い状況で、令和3年までに10%削減に向かうには、新たな対策・工夫が必要ではないでしょうか。P.17の用紙の削減、廃棄物の削減行動を徹底し、リサイクル率を上げる。会議・書類等の電子化。</p> <p>その他、飲物は自動販売機ではなく、別の形で提供するなど廃棄物が出ない仕組みを検討し、区内に広げる活動を考えたい。</p> <p>グリーン購入の購入率未達。国・地方公共団体はグリーン購入法に対応しなければならぬので、各部署の物品購入担当者にグリーン購入に関する研修を受けていただくのが効果的と考えます。</p> <p>適切な自己点検の実施とありますが、ISO14001に認証登録していた時代のように、部署間で内部監査を実施することで、他部署の環境活動を知り、自部署の改善するところが見え、環境配慮意識が高まり、お互いに効果があると考えます。今後、ISO14001やエコアクション21など、第三者認証を検討なさることも効果的と考えます。</p>	<p>ご意見は今後の参考とさせていただきます。</p> <p>一般廃棄物及び用紙類の削減については、職員に対し、重ねて取組例等の周知を図っていきます。また、グリーン購入は、従来から購入担当者等を対象に研修を実施していますが、今後より一層の周知を図っていきます。他部署による点検については、ISO14001の認証登録終了後も、他部署の環境検査員による点検を行っています。</p>	無
84	事務事業編の「職員一人一人が意識を持って、、、」のようなものがありました(YouTubeのナレーション?)、指標が分かりづらい上辺だけの言葉に聞こえるので、すぐにやめた方が良いと思います。	<p>ご意見は今後の参考とさせていただきます。</p> <p>ご指摘にあたらぬよう取り組んでいきます。</p>	無
85	また事務事業編の「職員一人一人が意識を持って、、、」のようなものがありました(YouTubeのナレーション?)、指標が分かりづらい上辺だけの言葉に聞こえるので、すぐにやめた方が良いと思います。	84番と同じ	無

その他

86	それと、このような杉並区以外にもかかわるような事柄のパブリックコメントは、区外の方からの意見も受け付けるようにしていただきたいです。客観的な意見をきける機会になると思いますので、よろしく願いいたします。	パブリックコメントは杉並区区民等の意見提出手続に関する条例に基づき実施しています。同条例及び規則で、区外の方を意見を求める対象としておりません。そのため、区政へのご意見・ご要望としてお伺いし、参考とさせていただきます。	無
87	地球温暖化は地球に住むすべての人の問題なので、杉並区民だけでなく誰でもパブコメを送れるようにしてください。	86 番と同じ	無
88	パブリックコメントの「区分」に在勤在学以外の区外者が無いことが残念に思います。環境問題は区内だけの問題ではなく、同じ空気や気候を区外都外の皆が共有しています。コメント内容に具体性地域性を持たせたいならば、区分を細分化することで解決するはずです。区内関係者に制限する理由があれば明言してください。	86 番と同じ	無
89	区民、在勤者、在学者、事業者以外の方からの意見も受け付けてください。気候危機には国境がなく、ましてや行政区など関係ありません。自治体を超えた意見を聞き、取り入れることは気候危機対策として極めて合理的かつ自然なことではないでしょうか。	86 番と同じ	無
90	計画というよりは、計画を策定する前段階の目標の設定と、現状(趨勢モデル)とのギャップを示し、いくつかのギャップを埋めるための手段があると例示したに過ぎないものと読めます。そのため、この計画は区が何らかの施策を強力に進めていくものというよりは、住民や事業者に脱炭素に向けての行動を促すことを意図しているのではないかと考えました。 仮に、住民や事業者への行動を促すことも意図しているのであれば、この計画に記載されている内容だけでは不十分ではないかと感じました。 例えば、この計画では、目標達成の上で欠かせない前提が2点あり、それらについてのコンセンサスがおそらく住民の間では得られていないと考えられるからです。 【前提1】電力排出係数(見込み)の前提 この前提は原子力発電所が全面的に再稼働されることが前提となっていると考えられます。 もしも、原子力発電所が2030年までに全	本計画案は、区民等の理解と興味関心を引き付けるため「読み物」風なものとなるよう策定しております。 また、原子力発電等の電源構成(エネルギーミックス)の問題は国の責任において議論される問題であり、区としては、区域施策編案 48 ページに記載のとおり、区民・事業者・区が連携してエネルギー利用の最適化等の取組を進めていくことが重要と考えています。	無

	面的に再稼働されなければ前提条件が崩れることとなります。 また、原子力発電所の再稼働自体が論争的なものなので、それを無批判に受け入れることに抵抗を感じる人も大勢いると考えます。		
91	・また、毎年11月1週目の週末に開催される「杉フェス」のテーマを「脱炭素・脱プラ・省エネ・・・」をテーマに開催するのはどうでしょう。この杉フェスで消費されるプラスチック容器等は膨大な量です。本年度は早期に立ち上げを行い、テーマに則したノウハウの検討、トライアルや体験を進めてみてはどうでしょうか。ゼロカーボンシティ・杉並を内外に伝える大きなチャンスです。準備と検証を行うことで、単なるイベントに終わらせることのない内容にできるのではないかと思います。	ご意見は今後の参考とさせていただきます。	無
92	●新しい太陽発電の利用 フィルム状で使える太陽光発電は窓ガラスやスペースを取らず窓ガラスや壁面などに使用可能とのこと。課題もあるようですが、区内の共有建物などから試してみるのも一考かと。	ご意見は今後の参考とさせていただきます。 なお、区では令和5年度に路面太陽光発電舗装システムに取り組むなど、今後も新たな技術を積極的に活用していきます。	無
93	杉並区地球温暖化対策実行計画(案)の策定についての提案です。 1 太陽光発電を大いに取り入れてほしいと思いますが、新たな技術開発でできた最新のものを知りました。化学メーカー「カネカ」と大成建設が開発した太陽光発電で、太陽電池を窓ガラスに挟んだものです。他にもバルコニーの手すり壁での太陽光発電などもできてるようで、設置場所が限られる今までのものとは比べるとかなり使い勝手が良いのでは。さらに、フィルムのような薄い太陽電池ができてるそうです。軽くて曲げることができるので壁面や曲面に設置可能で、曇りの日や屋内でも発電できるらしい。ゆくゆくはカーテンなどにもできるそうなので、これはとても有効なのでは。杉並区でも、区役所ほか区の施設など建て替えや修繕時に活用して早く試してほしい。可能性があれば、一般家庭にも早く取り入れ普及できるように、助成してもらえればと思います。	92 番と同様	無
94	カーボンゼロ、カーボンニュートラルに反対だ。温暖化に根拠などなく、経済統制により世界を企業社会主義、全体主義化させる政策だ。バリ協定を離脱したトランプを支持する。EVなんか普及したら、原発を全部再稼	地球温暖化については、政府の推薦等で選ばれた専門家が、人為起源による気候変化や影響、緩和方策等に関し、科学的、技術的社会的な見地から評価を行う「気候変動に関する政府間パネル	無

	<p>働しないと電力不足になり、日本の自動車産業がつぶれる、何もいいことはない。仮に、温暖化しても日本は水没することもないし安泰、真正クリスチャンはキリスト再臨により地球環境は更新されるこちとを信じているので何も心配することはない。</p> <p>高井戸の上水幼稚園には達磨型の石炭ストーブがありました。化石燃料は人類のために神から賜ったものであり、カーボンが悪などとは考えたことがない。</p> <p>エコが偽善と思ったのは、私は職場の環境計画推進の担当で研修を受けた。しかし夏は28度にしなければいけないのに最強冷房、25度設定を抗議しても受け入れられないし、暖房は20度設定にしてウォームビズしなければいけないのに、24度設定は汗かくのでやめてくれ職場で上司抗議したら強い反発があった。勤務時間中の洗身入浴は職務専念義務違反だし、エコにも反する。判例では洗身入浴は労働時間に含まれないから賃金カットの対象とすべきと言ったら徹底的にたたかれ、左遷されましたから、まじめにエコに協力し下着2枚着ている人がばかをみることになっている。</p> <p>いいかげん温暖化対策はやめて経済成長第一の政策に転換しましょう。</p>	<p>(IPCC)」の報告等を踏まえ、防止に向けた世界的な合意がされております。日本も2050年までのカーボンニュートラルを宣言し、国、都道府県等各自自治体で様々な対策に取り組んでいるものと認識しています。区としても地方公共団体として、様々な対策に取り組んでいきます。</p>	
95	<p>杉並区地球温暖化対策実行計画 区域施策編 42 ページ</p> <p>細かな確認ですが、「◆平成 25(2013)年度の実績値と令和 12(2030)年度の目標値の比較」において農業の項目で1が0になる削減率が51%となっていますがどうでしょうか。</p>	<p>計画案に記載の数値は、端数を処理した上で表示している場合があります。一方、増減率等の計算は、なるべく端数を保持した数値で算出するとしているため、表示された数値による計算結果が異なる場合があります。</p>	無
96	<p>環境審議会の資料が公開されていなかったもので、ぜひ公開していただきたいです。</p>	<p>他の審議会と同様、現状では資料を区公式ホームページに掲載していませんが、杉並区環境清掃審議会の議事録は区公式ホームページで公開しています。</p>	無
97	<p>また都市計画も出来るだけ環境負荷をかけず、ゼロカーボンの視点から考える必要があると思う。例えば道路計画による現存住宅や商店、ビルの破壊、道路の拡張などは多量のCO2を排出するが、それらのCO2排出量についても検討し都市計画を考えていく必要があると思う。</p>	<p>ご意見は今後の参考とさせていただきます。</p> <p>なお、令和4年度に改定したまちづくり基本方針では、ゼロカーボンシティを見据えた視点を中心に据えて、総合方針に掲げる各分野の取組と連携しながら「みどり豊かな住まいのみやこ」の実現に向けた取組を進めていくこととしています。</p>	無